

4. ESD（持続可能な社会の担い手を育む教育）について。

（1）本市におけるESDの取り組み状況について。

（2）ESDを推進するために。

①明確な方針や目標、指標等を定めてはどうか。

②「教育に関する事務の点検・評価報告書」の評価項目への追加を検討してはどうか。

③ユネスコスクールへの加盟を目指してはどうか。

【答弁】

4. ESD（持続可能な社会の担い手を育む教育）についての（1）、（2）①②③につきましては、関連いたしますので、一括してお答えいたします。

ESD（持続可能な社会の担い手を育む教育）については、幼稚園教育要領及び小中学校学習指導要領の前文及び総則に「持続可能な社会の創り手」の育成が掲げられております。本市の学校園においても、各教科だけでなく、学校教育の様々な場面を通してESDが実施されております。

具体的に、本市の幼稚園では、ESDで重視する能力・態度、例えば、自分で考え、試してみたり、調べてみたりする力を育むことができるような活動を、保育の中に取り入れています。また、教員の資質向上のため、昨年度、奈良教育大学から教授を招き「ESD的幼稚園教育を考える」というテーマで研修し、ESDで育てたい価値観について学び、日々の教育実践に生かしております。

小中学校では、総合的な学習の時間を中心に「国際理解」「平和」「環境」「福祉」のテーマについては全ての学校で取り扱い、教科横断的に学んでおります。また、今年度は市内の中学校が、大阪府から日本国際博覧会教育プログラム事業を受け、企業の協力も得て、子どもたちがSDGs達成に向けた独自のアイデアを考え、発信する取り組みを実施いたします。このアイデアは選考を経て、最終的には万博協会主催のジュニアEXPOでプレゼンし府域に発信する予定となっております。

E S Dに関する各校園での取組みを一層推進するために、市としての明確な方針や目標、指標等を定め、「教育に関する事務の点検・評価報告書」の評価項目に追加する等の取組みは効果的であると考えます。

本市教育委員会といたしましては、市として明確な目標や指標等を定めるためにも、まずは、各校園の取組みを整理、系統化する必要があると捉えております。加えて、教育内容についても先進校の取組みを各校園に紹介しながら、充実させ、市としてE S Dの目標や指標を定められるよう、先進市の取組みを参考にしながら研究してまいりたいと考えております。

ユネスコスクールにつきましては、現在、富田林幼稚園が「地域文化の継承と創造、聞くこと話すことに関わる活動」「健康な生活と体作り、自然との関わりの活動」で報告書を作成し、加盟を申請しているところでございます。今後、富田林幼稚園がユネスコスクールに承認されましたら、E S D推進拠点とし、市域に取組みの成果を発信してまいりたいと考えております。

本市教育委員会といたしましては、SDG s 未来都市の指定を受けている本市の子どもたちに、今後とも質の高い教育を全ての子どもに提供できるよう、各校園を支援してまいります。